

「平成29年度スタートにあたり」



本校は県内唯一の病弱特別支援学校として、また、県南の肢体不自由特別支援学校の中核校として、個々のニーズに対応しながら子どもたちひとりひとりの豊かな学びを保障していくという大きな使命を持っています。

現在、本校を取り巻く状況は刻一刻と変化をしてくれています。これからの時代に必要な資質・能力の育成に向け、次期学習指導要領の改訂を踏まえ、各教科等の指導内容、評価の具体化を図ること。児童福祉法等の改正に伴い、日常を営むために医療を要する状態にある子どもたちの通学及び安心安全な学習環境への具体的な対応を図ること。障害者差別解消法の施行を受け、共生社会の実現に向け、障害のある子どもたちが十分に教育を受けられるための合理的な配慮や基礎的環境整備、そして、それらに対応していくための相談体制の整備を図ることなどが学校現場に求められています。

このような社会的な動向と学校課題をしっかりと押さえ、平成29年度の学校経営目標として、

- ①子どもの豊かな学びを支える専門性・授業力
- ②子どもの安心安全を支える専門性・システムの構築
- ③学校課題の解決に向けた学校力・組織力の構築

の3点を掲げ、教職員ひとりひとりが常に学校経営目標を意識して日々の教育活動に邁進していきたいと考えています。

3つの目標の達成に向けては、私たちひとりひとりが日々悩み、考え、創造していくことが必要だと考えています。また、教職員相互で議論していくことも重要だと考えています。このような過程をひとつひとつ丁寧に踏むことが、子どもたちの豊かな学びに必ずつながっていくと確信をしています。

最後になりましたが、児童生徒や保護者、地域の皆様のご期待に応えることができる学校であり続けるために、さらに私たちが学びを深めて授業力をあげていきたいと考えていますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岡山県立早島支援学校長 高橋 章 二

編集後記

やわらかな春の光が、校庭へ、運動場へ、北棟バースへと降り注いで、教室の窓を開けると春の風とともに入ってきました。出会いを運んでくれる春の風。今、光の中で、新しく出会った子どもたちに向き合っています。▼3月には、さまざまな別れがありました。子どもたちへ自分ができる精いっぱいのことをしたのだという思いと、充分なことができなかったという思いが交錯しました。

▼学校教育は、必然的に別れを内包しています。けれども、別れがあればこそ、新しい出会いが待っているのだと思います。今、子どもたち一人ひとりの個性をしっかりと受け止めていきたいと思っています。一日一日ちいさな花が咲きますように、汗をいっぱいかいていこう。▼この学校通信では、学校経営目標に基づいた本校のさまざまな取り組みを紹介していこうと思います。一年間、どうかよろしくお願いいたします。